



ふゆやす 冬休み

おやこどくしょ 親子読書

図書だより 令和4年2月号

さくら市立押上小学校

今年度は3回の親子読書にご協力
いただき、ありがとうございました。

☆は児童の感想、♪はおうちの方の感想です。両面あります。

『バナナのはなし』

☆ぼくはバナナがすきなのでバナナのはなしの本をえらびました。バナナのなかのくろいてんがたねとはしりませんでした。

ねんせい 1年生

♪バナナ大好きだもんね。バナナの育ち方やバナナの花など、私も初めて知ったことが多かったです。次にバナナを買った時は種を見てもみようね。

『そらまめくんのベッド』

☆そらまめくんみたいなベッドでねてみたいです。そらまめくんがおともだちとなかよくなってよかったです。

ねんせい 1年生

♪ふわふわベッドきもちよさそうだね。みんなにかしてあげられるそらまめくんがえらいよね。



『ゆきがくる』

☆ぼくの家には雪がつもらなかったけど、あそこの家には雪がつもった。うらやましいなとおもった。

ねんせい 2年生

♪雪国の冬はたくはとても大変だったのだな、と思いました。

むかしの家のストーブやせんたくきなどの絵がとてもなつかしかったです。見開きの工具のせつ明も楽しいです。



『ぜつめつききどうぶつ』

☆リョコウバトは50おくわいたそうです。リョコウバトはお肉がおいしくて羽毛が羽毛ふとんのざいりょうとして高ねでうれたそうです。さいごの一羽マーサは1914年9月1日あつひの午後に止まり木からおち、かかりいんがかけてたときはもうなくなっていたそうです。いっぱいいたいきものでも、とりすぎるとぜつめつしてしまうのだと思いました。

ねんせい 2年生

♪本を読んで、むかしのこと、どうぶつのこと、いまのことやたいせつなこと、いっぱいまなぶことができてすばらしいですね！これからもいっしょにいろいろな本を読んでいきましょう。

『自然の一生図鑑』

☆(前略)とくにぼくが気に入っているお話は火山でした。

火山は地下の深いところに火山の力の源のマグマだまりがあるようで、地下のマグマだまりが空っぽになると活動をやめている火山や、何十年もふん火してないけれど、しょう来にはふん火するだろうと予想されている火山のように、火山にもいろいろなものがあることを知りました。

ねんせい 3年生

♪私たちの身の回りには、全てのものには、様々な段かいをたどって、成長したり変化したりしながら次の世代にバトンタッチしている事を学びましたね。あたり前のように今、目にしている虫や花や動物、自然界にあるものに対する見方が変わりました。

『ずっとそばに・・・』

☆(前略)けど、そのあとくまさんを動物たちが一人ぼっちにしないようにあつまって、みんなの体に雪がふりつもってお山になってしまっすごく悲しかったです。

ねんせい 3年生

♪表紙を見た時には、動物たちが森の中で楽しく暮らすお話だと思っていました。しかし読みはじめてすぐ人間のせいで山の中で住みづらくなってしまう事がわかります。悲しいお話でしたが人間と動物の共存を考えさせられました。



『なつのやくそく』

☆タッチがいねむりしていたら友達^{ともだち}の毛^けがふっとんじゃって、友達^{ともだち}の毛^けでマフラーをプレゼントして、最後^{さいご}は、タッチ用^{よう}のマフラーを作^{つく}ったところがほくもいい場面^{ばめん}だと思います。ほくもマフラーを作^{つく}ってみたいです。

ねんせい
4年生

♪友達^{ともだち}の大切^{たいせつ}なものをなくしてしまい、その後^ごも友達^{ともだち}を想^{おも}い探^{さが}して「ごめんね」と仲直^{なかなお}りしていた所^{ところ}が印象^{いんしょう}的^{てき}でした。素直^{すなお}に謝^{あやま}る気持^{きも}ちをもつということを学^{まな}んでいってほしいと思^{おも}います。



『いのちのおはなし』

☆私^{わたし}はこの本^{ほん}を讀^よんで、一番^{いちばん}に感^{かん}じたことが自分^{じぶん}の時間^{じかん}への使^{つか}い道^{みち}です。私^{わたし}の残り^{のこ}時間^{じかん}はたくさんあります。だからこそ、自分^{じぶん}のためになるよう^{よう}なことだけではなく、他^{ほか}の人^{ひと}への心^{こころ}づかいをする時間^{じかん}をたくさん増^ふやしたいです。

ねんせい
6年生

♪命^{いのち}は時間^{じかん}。人^{ひと}の為^{ため}にどれだけ時間^{じかん}を使^{つか}っているかな。と大人^{おとな}でも讀^よんでみてハッとさせられました。一日^{いちにち}過^すすだけで自分^{じぶん}の為^{ため}に、人^{ひと}の為^{ため}に過^すしている時間^{じかん}より無駄^{むだ}な時間^{じかん}が改^{あらた}めてたくさんありました。命^{いのち}とは生^いきているこの時間^{じかん}、一瞬^{いっしゅん}一瞬^{いっしゅん}をどう使^{つか}うか。考^{かんが}えさせられるお話^{はなし}でした。



『10歳^{さい}から知^しっておきたいお金の心得^{かね こころえ}』

☆(前^{ぜん}略^{りやく})他^{ほか}にもいろいろな税金^{ぜいきん}があつた。おこづかいもすぐ^{つか}に使う^{つか}のではなく、使^{つか}う・ため^{ひと}る・人^{ひと}のため^{つか}に使^{つか}う・増^ふやす、の4つ^{きんばこ}のちょ金箱^{つく}を作^{つく}ってやるのもおススメらしい。増^ふやすお金^{かね}は少^{すこ}しむずかしいかもしれな



ねんせい
5年生

♪お正月^{しょうがつ}でお年玉^{としだま}をいただくのを機^きに、お金^{かね}の仕組^{しく}みや使^{つか}い方^{かた}をこの本^{ほん}を通^{とお}して考^{かんが}える事^{こと}が出来^{でき}れば良^よいと思^{おも}います。

『ぼくらの七日間戦争^{なのかかんせんそう}』

☆中^{ちゅう}学^{がく}1年^{ねん}生^{せい}全^{ぜん}員^{いん}がけん^{りょく}力^もを持^もつ大人^{おとな}たち^ににふくしゅうしよう

考^{かんが}え校^{こう}長^{ちやう}先生^{せんせい}をめいろへ連^つれこみ、そのふくしゅうのしかたがおもしろかったです。あと体^{たい}育^{いく}の先^{せん}生^{せい}にむずかしい問^{もん}題^{だい}をだし、とけなくて、プ



ねんせい
4年生

ロレスのマネをされた所^{ところ}を見^みてみたかったです。
♪分^{ぶん}厚^{あつ}い本^{ほん}にチャレンジしましたね。内^{ない}容^{よう}はク^こラ^らスの子^こたち^が大^お人^{とな}との戦^{せん}争^{そう}をしかけておもしろさが加^{くわ}わりワクワクしながら読^よみ終^おえました。
休^{やす}み中^{ちゅう}、最^{さい}後^ごまで読^よみ終^おえなかつたようなので、続^{つづ}きも頑^{がん}張^ぱって読^よんでほしいです。

『遠^{とお}くのパパとおへそのママ』

☆両^{りょう}親^{しん}がいそがしくて、子^こどもたち^{だけ}で過^すごしてました。そこ

6年生

で、子^こども^{たち}は、さみしくなつておへそを使^{つか}つて、ママ^{かお}の顔^{かほ}をかく所^{ところ}を見^みて、子^こども^{たち}だけでお留^る守^す番^{ばん}するなんておこづかいな



『やなせたかし アンパンマンのゆうき』

☆東^{ひがし}日^{にほん}本^{だい}大^{だい}震^{しん}災^{さい}の時^{とき}、ま^{ちい}だ小^こさか^なつたけど何^{なん}どもテレビをみ^{こころ}て心^{こころ}を

ねんせい
5年生

いためました。P. 169に悲^{かな}しみ^{こころ}を心^{こころ}にしまつたとありますが、そ



の文^{ぶん}章^{しょう}が何^{なん}だかつらいです。
♪お友^{とも}達^{だち}やだれかが困^{こま}っているとき、ま^まっさきにかけつけられる

〇であつてほしい。た^{べん}とえ勉^{けん}強^{きやう}や運^{うん}動^{どう}がに^がてでもアンパンマンの

よ^ような優^{やさ}しいヒ^ひーロ^ろーで!